

## 【西東京市】 校務DX計画

令和5年3月に『「GIGAスクール構想の下でのDXについて～教職員の働きやすさと教育活動の一層の高度化を目指して～」の周知について』の通知があり、日本型学校教育を支える基盤としての校務DX（次世代の校務DX）の在り方等について、現状と課題を整理した上で、関係省庁の施策や中央教育審査会における検討の方向性と整合する形で、具体的なビジョンと講じるべき施策をまとめたものが示されました。

当市では、校務支援システムのクラウド化の導入や、教育情報ネットワーク環境において、児童・生徒の個人情報等を取り扱う「校務系ネットワーク」とホームページの編集や学校の代表メールの送受信をする「校務外系ネットワーク」、児童・生徒が教育活動で利用する「学習系ネットワーク」と3つのネットワーク環境に分離し、セキュリティ対策を行ってきております。

また、教職員については、校務支援システムのグループウェアやシステム機能を活用し、学校での伝達事項や教務、保健、学籍、成績管理等の情報をデジタル化し、教職員間で幅広く業務で利活用しています。

今後、教育の情報化においては、教職員の異動する際の負担軽減やデータ標準化の観点からシステム共有化、GIGAスクール構想による1人1台端末の学習系ネットワークと児童・生徒の個人情報等を取り扱う校務系ネットワークとのデータのやり取りの効率化に向けて、ネットワーク統合やアクセス制御による十分なセキュリティ対策を講じたゼロトラストに基づく環境の整備を、国や他の自治体の動向を捉えながら調査研究していきます。また、FAXでのやり取りや、押印の見直し、不合理な手入力作業についても、校務の効率化、ペーパーレス化として考慮しながら、調査研究していきます。